

あなたが大切な人に  
残したい“記憶”は何ですか？

第22回  
釜山国際映画祭  
正式出品作品

# 蝶の眠り

中山美穂 キム・ジェウク

石橋杏奈 勝村政信 菅田 俊 眞島秀和 澁谷麻美／永瀬正敏



2018年5月劇場公開作品  
© 2017 SIGLO, KING RECORDS, ZOA FILMS



## 2018.10.17 Rental Release

KING RECORDS  
発売・販売元：キングレコード株式会社

11月3日はビデオの日  
おうちでレンタル！  
© 2018/11ビデオの日/実行委員会

## “愛の記憶の物語”

長い間記憶に残る美しい映画です。  
—ホ・ジノ (映画監督『八月のクリスマス』)

アルツハイマーになっても小説を書くことも、  
人を愛することもできる。美しく、優しく、  
可能性に満ちた、ステキな映画だ。  
—鎌田 實 (医師・作家)

愛の身勝手さ、その生々しい累ねが、  
忘れられない人として相手の心に残る。  
愛の本質に触れるような美しい映画でした。  
—行定 勲 (映画監督)

### ★POINT 1

人気女性小説家の人生の最終章を描くヒューマンドラマ  
年の差を超えた究極の愛がテーマの本作。劇場公開時には主人公の姿に号泣する観客が続出した。

### ★POINT 2

中山美穂5年ぶりの主演最新作  
自分の尊厳を最後まで守ろうとする難役に挑戦。ラストシーンの無垢で透き通るような表情が見る者の心をゆさぶる。

### ★POINT 3

相手役は人気韓流スター キム・ジェウク  
「コーヒープリンズ1号店」で大ブレイクし、2017年のドラマ「愛の温度」でも紳士っぷりが話題に！

### ★POINT 4

アジア圏で続々公開決定  
特に韓国で絶大な人気を誇る中山美穂。台湾と韓国で公開が決定し、アジアでも話題を集めている。

### ★POINT 5

バリアフリー完全対応DVDでのリリース  
バリアフリー日本語字幕とバリアフリー日本語音声ガイドの両方を収録。  
聴覚障がいや視覚障がいを持つ方でも作品を楽しめる統一規格を採用。



女性小説家が選んだ人生最終章は美しいラストストーリー

STORY 50代前半で、まだ美しさを保つ売れっ子の女性小説家・涼子(中山美穂)は、華やかな日常の裏で、自分が母と同じ遺伝性アルツハイマーに侵されていることを知る。そして次第に自分をコントロールできなくなっていく恐怖と、一人で死に立ち向かう寂しさを抱えていた。死を迎える前に、何かをやり遂げようと考えた涼子は、大学で文学の講師を務めることを決める。講義の初日、学生と訪れた居酒屋でアルバイトをする韓国人の留学生チャネ(キム・ジェウク)と出会い、涼子は最後となるかもしれない小説の執筆を手伝わせることに。互いの気持ちを量りながらも、2人の思いはすれ違っていく。